WATEX
株式会社ワーテックス
〒373-0015　群馬県太田市東新町 32 番
URL　http://www.watex-net.com/

お客様サポートセンター
TEL 0120-25-3930（フリーダイヤル）
受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30
（土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日）

WATEX

地上デジタル防水テレビ　15 型

WMA-115-F

取扱説明書

このたびは、浴室テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき安全に正しくお使いください。
- 取扱説明書は、いつでもご覧になれる場所に保管してください。
- この機器は国内専用ですので、海外で使用しないでください。
- 本製品には、地上デジタル放送を受信するための「B-CAS カード」が工場出荷時に機器内に内蔵されています。

Ver.1.00

目　次

■安全上のご注意 ・・・

安全上のご注意

⚠ 警告　以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されます。

□製品の設置について

水中に落ちる恐れのある場所に置かないでください。
水中に落ちた場合、火災や感電、故障の原因となります。

□製品の異常について

万一本製品より煙が出る、異臭が発生する、発熱している、異物が入ったなどの異常が見られる場合には、すぐに電源ボタンをオフにしてご使用を中止してください。
異常状態のままご使用を続けると火災や感電、故障の原因となります。
ご購入いただいた販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

□外部機器との接続について

外部機器への接続(ケーブルの接続)は濡れた手で行わないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

□電源ボックスについて

必ず本製品付属の指定品をお使いください。

電源ボックスはAC100Vです。指定電源電圧でお使いください。
指定電源電圧以外で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

日本国外での使用は行わないでください。
海外などで異なる電圧を使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

電源ボックスの取り外しをするときは、本体の電源をオフにしてから行ってください。
故障の原因となります。

電源ボックスのコードの加工や、重いものを乗せる、ストーブなどの熱器具へ近づける、加熱するなどの行為は行わないでください。コードが切断・損傷し火災や感電の原因となります。

濡れた手で電源ボックスを触らないでください。感電や故障の原因となります。

電源ボックス上、または付近に液体の入ったものを置かないでください。

⚠ 注意　以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性があります。

□製品の取り扱いについて

本製品を移動させる場合、電源ボックスや接続機器のコードを全て外してください。
火災や感電、故障の原因となります。

本製品を移動させる場合、しっかりと両手で持ってください。
本製品が落下して、けがや故障の原因となります。

シンナー、ベンジン等の有機溶剤や化学製品で本製品を拭かないでください。
塗装がはがれて付着したり、樹脂部が溶ける原因となります。

定期的にクリーニングを行ってください。
製品内部にホコリがたまった場合、火災や故障の原因となります。

通風口を塞がないようにしてください。
通風口を塞いだ場合、製品内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

通電中の本製品に長時間触れないでください。低温やけどやけがの原因となります。

表示中の画面を長時間継続して見ないでください。目が疲れたり、視力が低下する恐れがあります。
長時間見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用を中止し休息をとってください。
万一休息しても不快感や痛みが取れない場合には医師にご相談ください。

水や洗剤がかかったら、早めに拭き取ってください。そのまま放置すると、スピーカー部に水がたまり音が小さくなったり、画面に水垢がついたりします。

シャンプーなどがかかったら、軽く水拭きした後、乾いた柔らかい布で拭いてください。
かかったまま放置しますと変色、故障の原因となります。

□製品の設置について

本製品が落下したり、転倒したりする恐れのある不安定な場所、振動の発生する場所に置かないでください。
けがや故障の原因となります。

「設置説明書」をご覧になり、本製品が正しく取り付けられていることをご確認ください。
誤った取り付け状態でご使用の場合、本製品が落下して、けがや故障の原因となります。

強い磁界や静電気が発生する場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。

漏電の発生する危険な場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。

ホコリや油煙の多い場所や直射日光の当たる場所に置かないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

□液晶画面について

液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えたりしないでください。液晶画面が破損して、けがや故障の原因となります。

液晶パネルが破損した場合、内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となります。
万が一口に含んでしまった場合、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
目に入ったり、皮膚に付着した場合、清浄な流水で１５分以上すすいだあと医師にご相談ください。

使用上のご注意

■電源について

・指定以外の電源は使用しないでください。

■取り扱い上の注意

・お手入れにはベンジンなどの化学薬品は使用しないでください。本体が変形したり、塗装がはがれたりします。汚れのひどいときは柔らかい布を薄い中性洗剤に浸し、硬く絞って拭いてください。
・浴室用洗浄剤が本体にかからないようにしてください。かかった場合には速やかに洗い流してください。
・石鹸やシャンプーがついたときには洗い流してください。
・スピーカー部分に、泥や砂が入らないように注意してください。
・熱いお湯がかからないようにしてください。また、熱いお湯の中に落とした場合、変形したり故障したりすることがあります。

■使用温度範囲内で使用する

・サウナで使用しないでください。(動作温度範囲：0℃～＋50℃)
・動作温度（0℃～＋50℃）の範囲外で使用すると、画像の乱れや故障の原因になります。
・0℃より低温、50℃より高温になると映りが悪くなることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。 (動作温度範囲：0℃～＋50℃)

●防水についてのご注意

本体は日常生活上の防水（IPX6級 耐水相当)が施されており、雨や雪、水しぶきがかかるところでも使える防水仕様となっておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。

(1) 水あるいは湯の中には入れないでください。
(2) 誤ってお風呂の中に落とした場合は、すぐに拾い上げてください。
(3) 多量の雨や水滴がついたときには、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
(4) 防水機能を維持するため、定期的に(2年に1度）点検(有償）することをお勧めいたします。

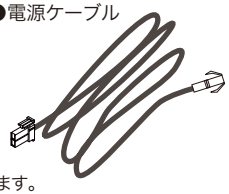
水の中でご使用になると水が浸水します。水の侵入による製品の不良については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

付属品一覧

●地上デジタル防水テレビ

●専用AVケーブル(別売品)※

●電源ケーブル



●専用同軸ケーブル

※ オプション品です。また、専用AVケーブルとなります。
市販のAVケーブルはご使用できません。

●リモコン

●リモコン用コイン型
リチウム電池
（CR2025）

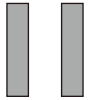
出荷時リモコンに
入っています。

●リモコン用工具

ご使用前に、付属の工具を使ってリモコン裏面の電池蓋を外し、中の絶縁紙を取り除いてください。(8～9ページ参照)

●リモコンホルダー

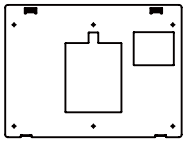
●リモコンホルダー用
両面テープ：2枚



●リモコンホルダー用ビス
M3×18：2本

●電源ボックス

●設置板



●防水スポンジ

●ビスカバー：2個

●取付板用ビス
M4×25：6本

●ビスカバー用六角穴付タッピングビス
M4×10：2本

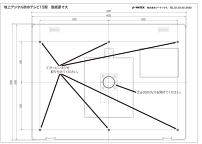
●六角レンチ棒

●保証書

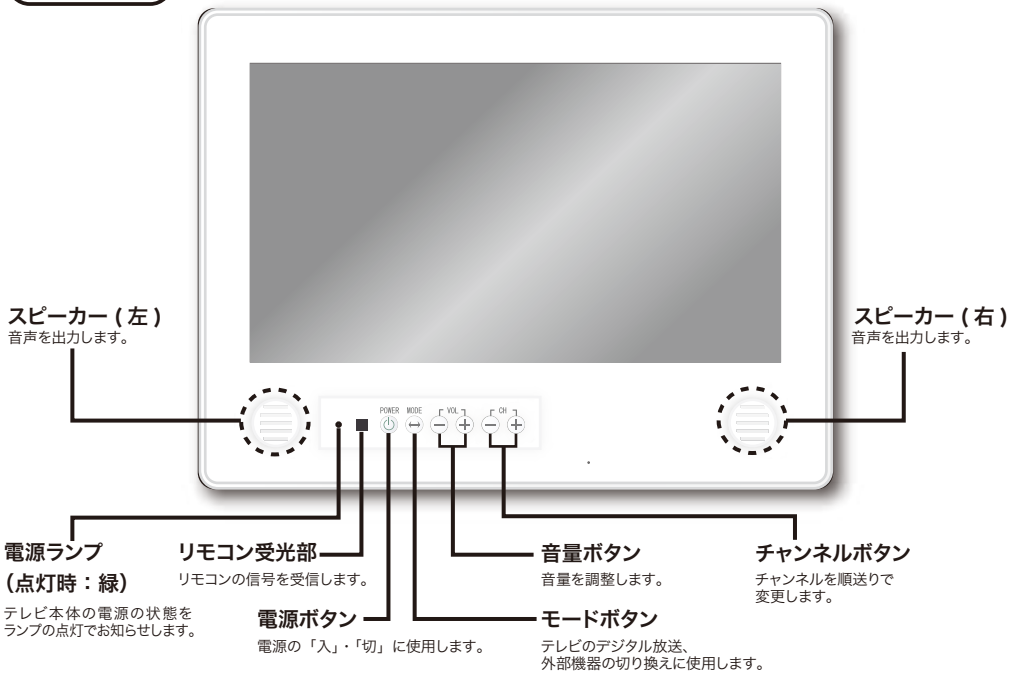
●取扱説明書

●設置説明書

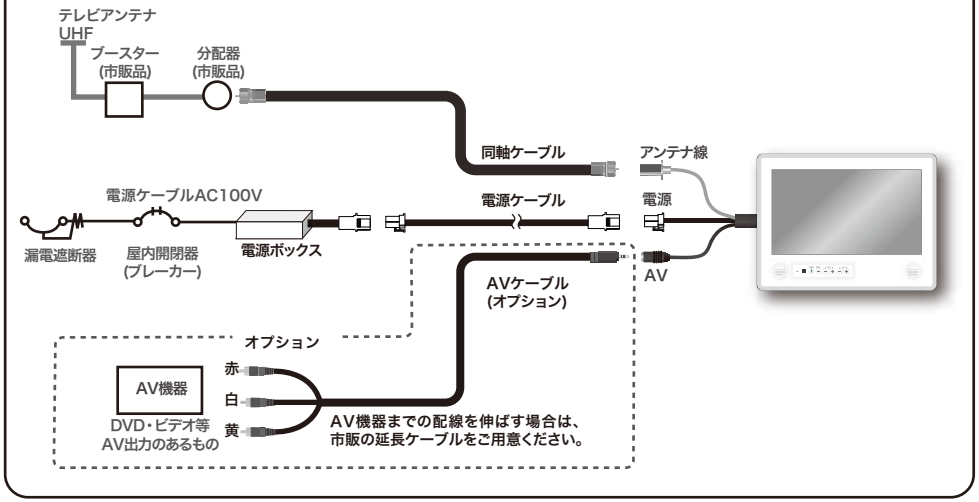
●取付型紙



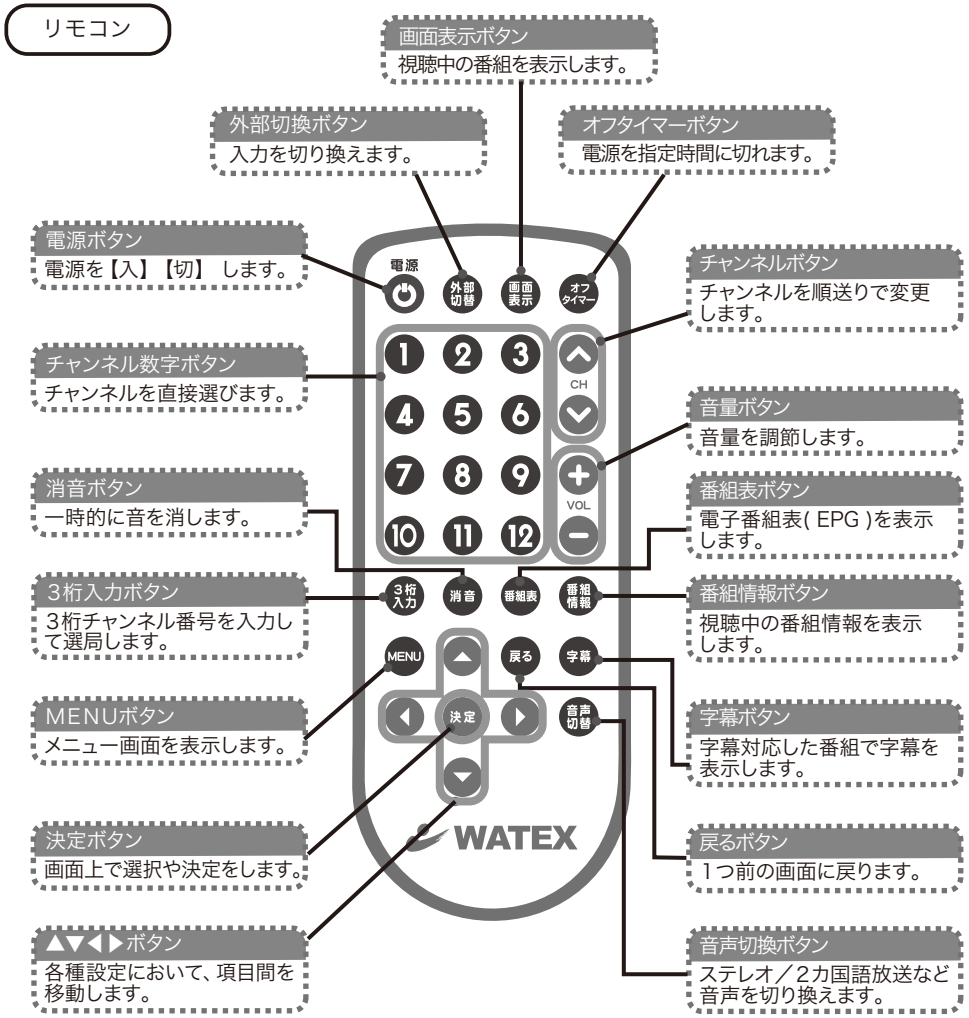
本体正面



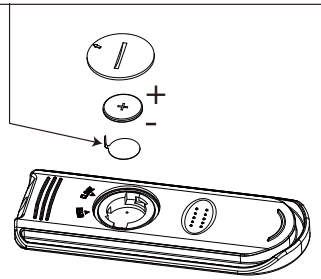
●システム図



リモコン



注意　ご使用前に、付属の工具を使って電池蓋を外し、中の絶縁紙を取り除いてください。



⚠ 使用上の注意

分解をしないでください。故障の原因となります。

水中に入れたり、中に異物を入れないでください。感電の恐れや故障の原因となります。

温度や湿度の高い場所に長時間放置しないでください。故障の原因となります。

電池の取り扱いについて

○⊕⊖の方向を正しく入れてください。
○長時間使用しないときは、本体から取り出してください。
○指定以外の電池を使用しないでください。

リモコンが正しく動作しない場合は、以下の項目を実行してください。

○電池を交換してください。
○電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。
○テレビ本体の電源ボタンを押してください。
○リモコンの先端部を手などで覆わないように操作してください。
○リモコン使用可能範囲で操作してください。

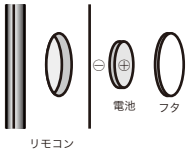
仕様

動作範囲：約 3m　左右 45°　上下 30°
電　　源：DC3V　リチウム電池 CR2025　1 個

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

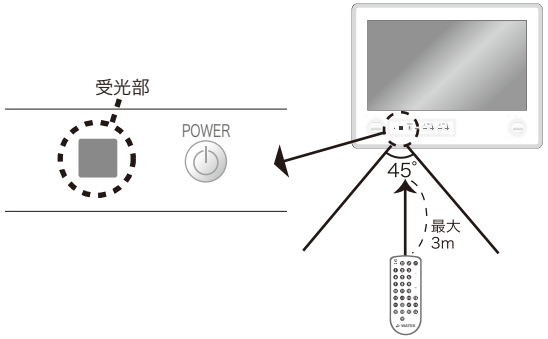
リチウム電池の入れ方

①裏蓋を付属の工具で矢印の方向に回して開けてください。
※裏蓋は非常に傷つきやすいです。注意して取り扱ってください。



②リチウム電池 CR2025 を⊕⊖の向きを表示とおりに正しく入れてください。

使用方法



リモコンを本体のリモコン受光部に向け、受信可能角度（左右 45°上下 30°）から操作してください。

〔本　体〕POWER 電源ボタンを押します。電源が入った場合、電源ランプが緑色に点灯します。

〔リモコン〕電源ボタンを押します。電源が入った場合、電源ランプが緑色に点灯します。

B-CASカードの使用許諾について

取扱説明書 11 ページに記載されているB-CASカード使用許諾契約約款をお読みください。

「B-CASカード使用許諾契約約款」同意画面

取扱説明書に記載されているB-CASカード使用許諾契約約款をお読みください。
次のページの操作を行うとB-CASカード使用許諾契約約款に同意とみなされ、地上デジタル放送が視聴できます。

[▼] を押して次の画面に進んでください。

本体の電源を入れると、左記の画面が表示されます。
リモコンの [▼] を押して次の画面にお進みください。

「B-CASカード使用許諾契約約款」同意画面
操作は、[MENU] ボタン押下後、
20 秒以内で行ってください。

[MENU] ボタンを押す
[◀] ボタンを押す
[▶] ボタンを押す
[MENU] ボタンを押す

※操作方法を間違った場合は電源を入れ直して再度操作を行ってください。

左の画面が表示されるので、
リモコンの [MENU] ボタン押下後、２０秒以内に以下の操作を行ってください。

1. [MENU] ボタンを押す
2. [◀] ボタンを押す
3. [▶] ボタンを押す
4. [MENU] ボタンを押す

以上の操作を行うとB-CASカード使用許諾契約約款に同意したとみなされ、地上デジタル放送が視聴できます。

B-CASカード使用許諾契約約款

B-ＣＡＳカード使用許諾契約約款 (KB0007C)　特別内蔵用カード

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するためのＩＣカード（B-CAS（ビーキャス）カード）（以下「カード」といいます）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」といいます）が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器（社団法人電波産業会（ＡＲＩＢ）の技術的基準に適合した受信機器）に内蔵されます。当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。この約款は「特別内蔵用 B-ＣＡＳカード」と「特別内蔵用 miniＢ－ＣＡＳカード」に適用されます。

第１条（カードの使用目的）

このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第２条（カードの所有権と使用許諾）

このカードの所有権は、当社に帰属します。

2. この約款の契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第３条（カードの故障交換等）

カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」といいます）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。

2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第１条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第４条（カードの交換依頼）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第５条（契約の終了）

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第６条（禁止事項）

第１条のカードの使用目的に反する機器（例えば著作権保護に対応していない機器）に、このカードを使用することはできません。

2. このカードを使用して、ＢＳデジタル放送や 110 度ＣＳデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
3. カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
4. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第７条（損害賠償）

お客様が第６条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第８条（約款の変更）

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）に掲載します。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

B-ＣＡＳカードについて

- 本製品には、地上デジタル放送を試聴するために必要な『特別内蔵用Ｂ-ＣＡＳカード』が内蔵されています。
- 本製品に内蔵されているＢ-ＣＡＳカードには１枚ごとに異なる番号（ＩＤ番号）が付与されています。ＩＤ番号は大切な番号なので、ご確認のうえ、必ず控えておいてください。ＩＤ番号につきましては、本体画面に貼ってあるシールまたは、メニュー画面（ 22 ページ参照）よりご確認ください。

B-ＣＡＳカードに関するお問い合わせ先

B-ＣＡＳカードや、B-ＣＡＳカードのユーザー登録についてご不明な点は、下記のＢ-ＣＡＳカスタマーセンターへお問い合わせください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話番号　０５７０-０００-２５０　受付時間　１０：００～２０：００(年中無休)

※電話番号はお間違えのないようお願いいたします。
※携帯電話、ＰＨＳなどの移動体通信機器および各種ＬＣＲや交換機の設定によってはかからない場合があります。

取り扱いについての注意

- 放送局などへのお問い合わせで、Ｂ-ＣＡＳカードのＩＤ(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客様のＢ-ＣＡＳカードの番号は控えておいてください。
- 内蔵されているＢ-ＣＡＳカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
- 受信契約については、B-ＣＡＳカード使用許諾契約約款をよくお読みください。
- 約款違反となりますので、本製品を分解してＢ-ＣＡＳカードを取り外さないでください。

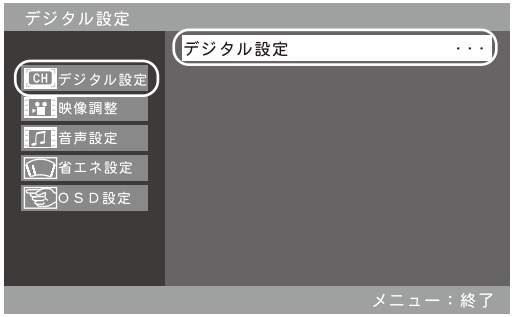
本製品について

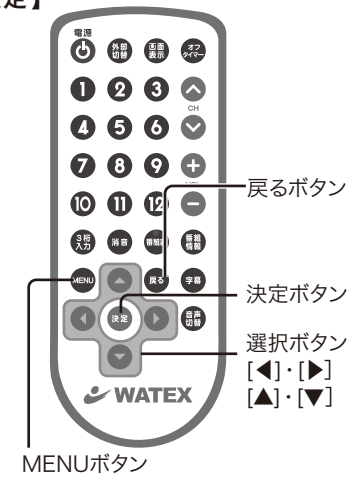
本製品は、地上デジタル放送のみ対応しております。
（ BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送をご覧になることは出来ません ）
本製品は周波数変換パススルー、字幕放送、EPG に対応しております。
データ放送や双方向サービスには対応しておりません。
トランスモジュレーション方式の CATV 信号には対応していません。
詳しくは CATV 放送会社や管理組合へお問い合わせください。

地上デジタル放送の設定（受信設定）

地上デジタル放送を受信するための設定【デジタル設定】の【受信設定】をリモコンから行います。

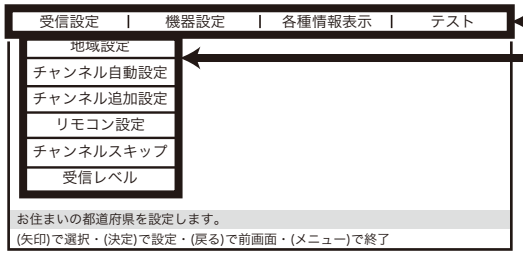
1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
メニュー画面が表示されます。





【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す
右画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す

2. 画面が切り換わります



リモコンでの画面操作方法

[◀]・[▶] ： カーソル移動

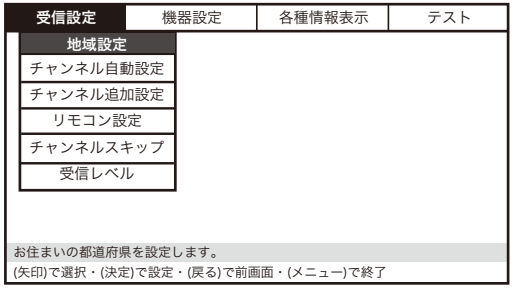
[▲]・[▼] ： カーソル移動

[決定] ボタン：決定
[戻る] ボタン：一つ前の画面へ戻る

3. 受信設定

テレビを見るための初期設定を行います。

【地域設定】にてお住まいの地域を設定し
その後【チャンネル自動設定】で受信できる
チャンネルを自動的に登録します。



◎地域設定（→14ページ）
お住まいの地域を設定

◎チャンネル自動設定（→15ページ）
受信できるチャンネルを設定

◎チャンネル追加設定（→16ページ）
受信状況が変わったときに
受信できる放送局を追加で設定

◎リモコン設定（→17ページ）
各放送局をお好みのリモコン番号に割り当て

◎チャンネルスキップ（→18ページ）
表示スキップする放送局を設定

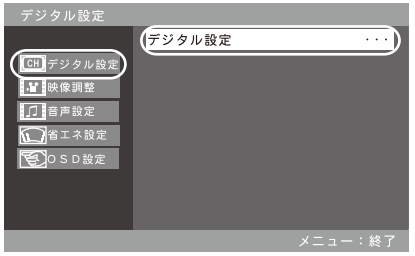
◎受信レベル（→19ページ）
現在受信しているチャンネルの受信レベル

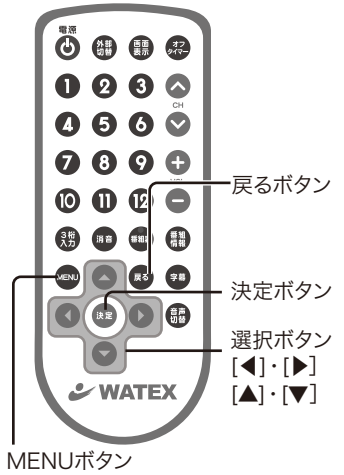
地上デジタル放送の設定（受信設定：地域設定）

地上デジタル放送を視聴するためにお住まいの地域の設定をします。

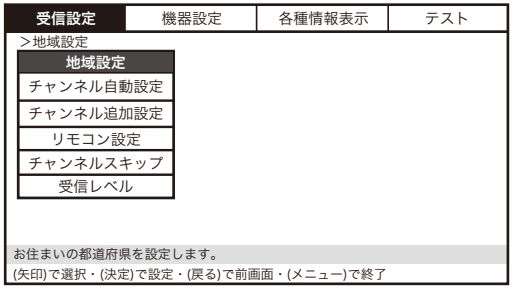
リモコンでデジタル設定の受信設定(地域設定)をします。

1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
メニュー画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す
右画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す





2. [▲]・[▼] で【受信設定】の【地域設定】を選び、
[決定]ボタンを押す



3. お住まいの地域を選ぶ

[▲]・[▼]でお住まいの地域を選び、[決定]ボタンを押す

[▲]・[▼]でお住まいの都道府県を選び、[決定]ボタンを押す

地域設定終了です。続いて15ページ【チャンネル自動設定】を設定してください。

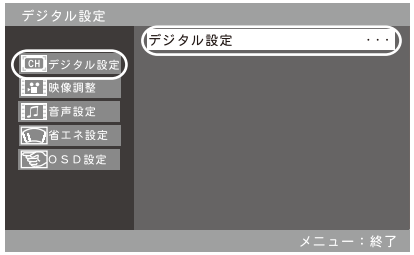
※【都道府県の設定】を必ず設定してから【チャンネル自動設定】を設定してください。

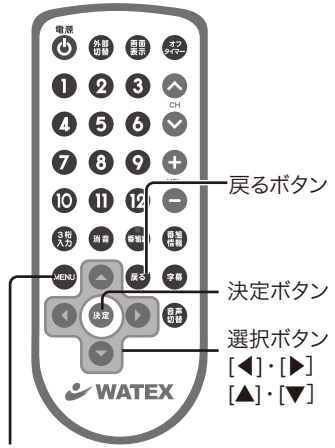
地上デジタル放送の設定（受信設定：チャンネル自動設定）

お住まいの地域で受信できる各放送局を自動的に検索し、視聴可能状態に設定します。

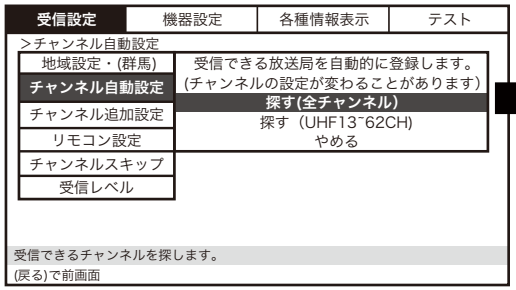
リモコンでデジタル設定の受信設定(チャンネル自動設定)をします。

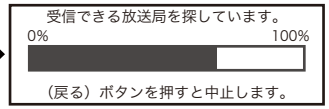
1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
メニュー画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す
右画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す





2. [▲]・[▼]で【受信設定】の【チャンネル自動設定】を選び、
[決定]ボタンを押す **(先にP.14【地域設定 】をしてから実行してください)**

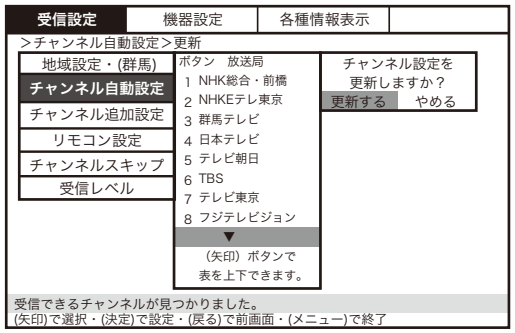




受信できる放送局を自動的に検索し、画面に表示します。
そのまま【探す（全チャンネル）】で設定できます。
【探す（UHF13~62）】になっている場合は、
【探す（全チャンネル）】に切り換えてください。
※【探す（UHF13~62）】でも設定できますが、
一部のチャンネルを受信しないことがあります。

【探す（全チャンネル）】を選び、[決定]ボタンを押す
UHFのみを検索する場合は、【探す(UHF 13~62CH)】を選び、[決定]ボタンを押します。
受信できる放送局を自動的に検索します。※約4分程度かかります。

3. 受信できるチャンネルの一覧が表示されます。
【更新する】を選び、決定ボタンを押す



■中止する場合
[戻る]ボタンを押してください。

■受信できる放送局が検索されなかった場合
「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と
メッセージが表示されます。

■お住まいの地域で新しく放送が開始された場合は、
【チャンネル追加設定】(P.16)を行ってください。

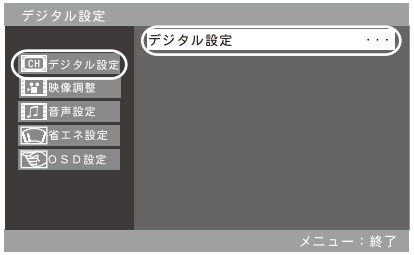
4. [MENU]ボタンを押す
メニュー画面が終了します。

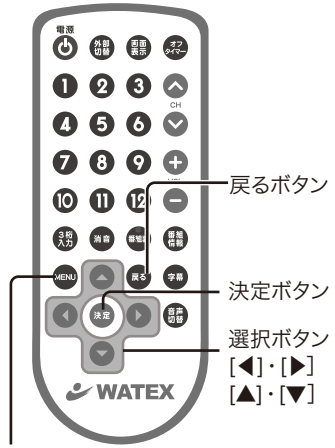
地上デジタル放送の設定（受信設定：チャンネル追加設定）

お住まいの地域で受信できる放送の受信状況が変わったとき受信できる放送局を追加で設定します。

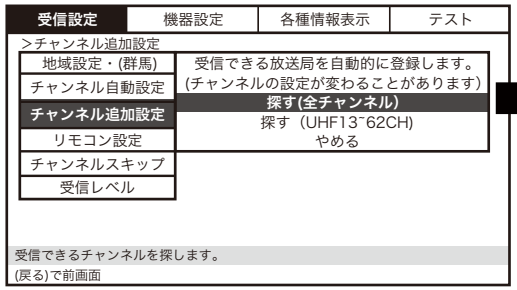
リモコンでデジタル設定の受信設定(チャンネル追加設定)をします。

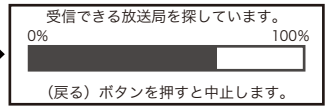
1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
メニュー画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す
右画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す





2. [▲]・[▼]で【受信設定】の【チャンネル追加設定】を選び、
[決定]ボタンを押す **(先にP.14【地域設定 】をしてから実行してください)**

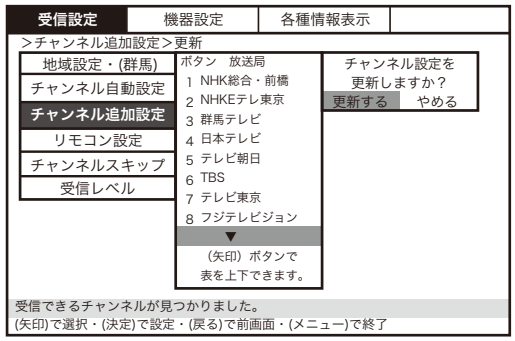




受信できる放送局を自動的に検索し、画面に表示します。
そのまま【探す（全チャンネル）】で設定できます。
【探す（UHF13~62）】になっている場合は、
【探す（全チャンネル）】に切り換えてください。
※【探す（UHF13~62）】でも設定できますが、
一部のチャンネルを受信しないことがあります。

【 探す（全チャンネル）】を選び、[決定]ボタンを押す
UHFのみを検索する場合は、【 探す(UHF 13~62CH)】を選び、[決定]ボタンを押します。
受信できる放送局を自動的に検索します。※約4分程度かかります。

3. 受信できるチャンネルの一覧が表示されます。
【更新する】を選び、決定ボタンを押す



■中止する場合
[戻る]ボタンを押してください。

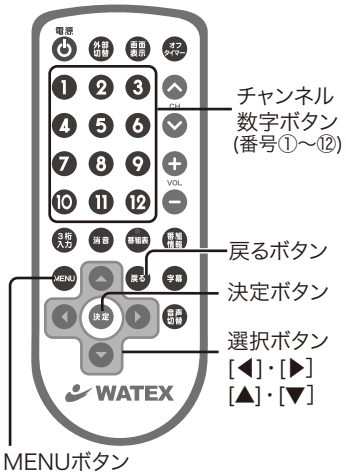
■受信できる放送局が検索されなかった場合
「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と
メッセージが表示されます。

4. [MENU]ボタンを押す
メニュー画面が終了します。

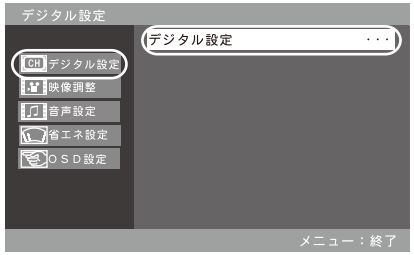
地上デジタル放送の設定（受信設定：リモコン設定）

各放送局をお好みのリモコン番号①～⑫に割り当てます。

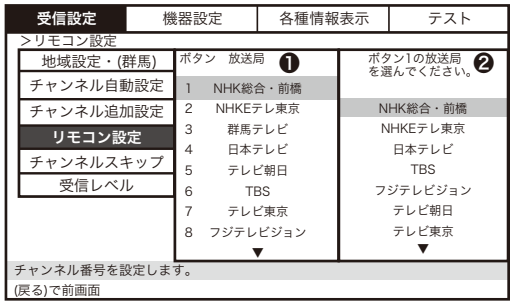
リモコンでデジタル設定の受信設定(リモコン設定)をします。



1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
メニュー画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す
右画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す



2. [▲]・[▼] で【受信設定】の【リモコン設定】を選び、
[決定]ボタンを押す



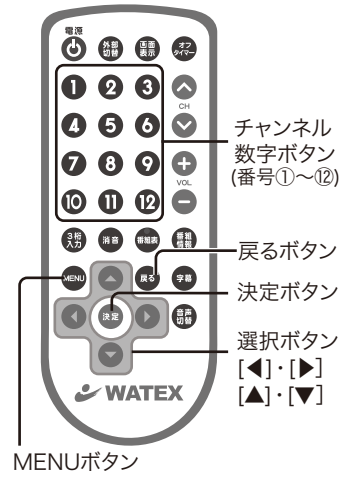
❶ [▲]・[▼] で変更するリモコン番号(ボタン)を選び、[決定]ボタンを押します。
❷ 続いて変更する放送局を[▲]・[▼] で選び、[決定]ボタンを押します。

3. 各放送局をお好みのリモコン番号(ボタン)に割り当て、
[MENU]ボタンを押してメニュー画面を終了します。
チャンネル数字ボタンを押すと設定したチャンネルが表示されます。

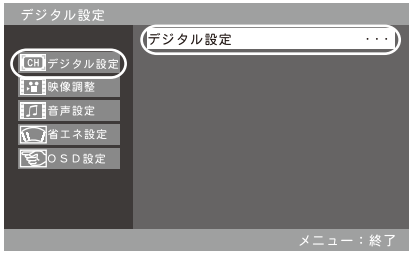
地上デジタル放送の設定（受信設定：チャンネルスキップ）

視聴しないチャンネルをスキップ、非表示にすることができます。

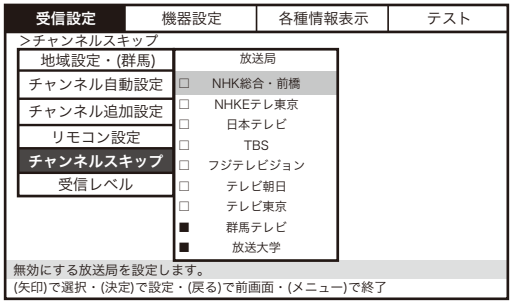
リモコンでデジタル設定の受信設定(チャンネルスキップ)を設定します。



1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
メニュー画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す
右画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す



2. [▲]・[▼] で【受信設定】の【チャンネルスキップ】を選び、
[決定]ボタンを押す



[▲]・[▼] で無効にする放送局を選び、[決定]ボタンを押します。
もう一度、[決定]ボタンを押すとチェックが外れます。
(無効にした放送局は、■チェックボックスにチェックされます)

3. [戻る]ボタンで前画面に戻ります。
[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

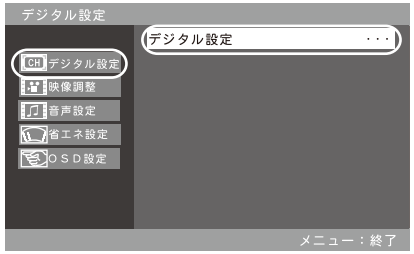
※スキップ設定した放送局は、番組表に表示されなくなります。
※スキップ設定した放送局は、①～⑫ のリモコン番号(チャンネル数字ボタン)でも選局できなくなります。
※全ての放送局をスキップにした場合は、「全てのチャンネルがスキップ設定されています」と
メッセージが表示されます。

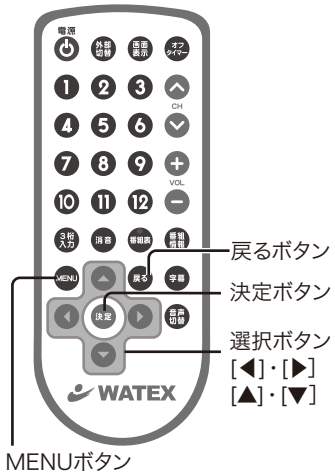
地上デジタル放送の設定（受信設定：受信レベル）

各放送局のアンテナの受信レベル（電波の強さ）を確認します。

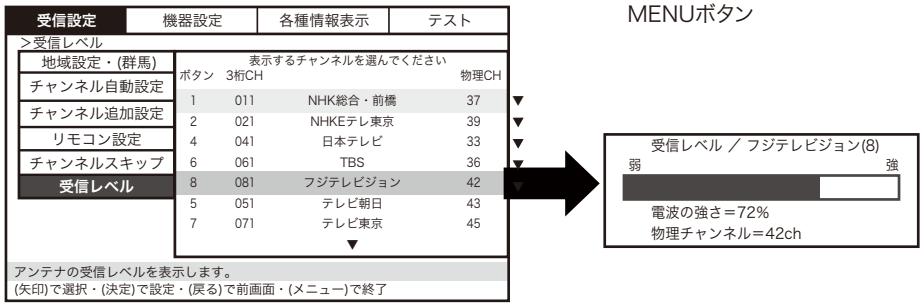
リモコンでデジタル設定の受信設定(受信レベル)を選択します。

1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
メニュー画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す
右画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す



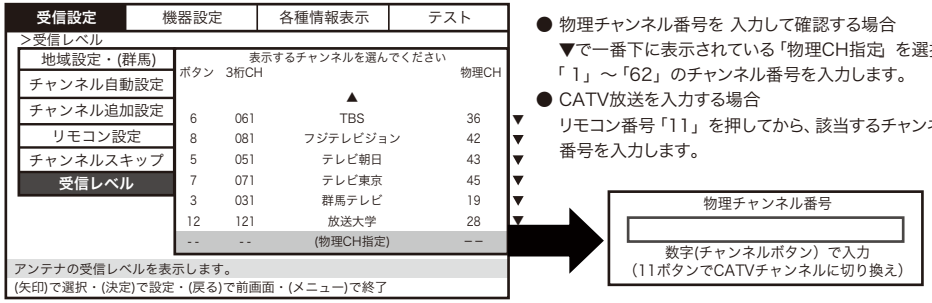


2. [▲]・[▼]で【受信設定】の【受信レベル】を選び、
[決定]ボタンを押す



[▲]・[▼]で受信レベルを確認したいチャンネルを選び、[決定]ボタンを押します。

3. ●物理チャンネルを指定して受信レベルを表示させる場合
[▲]・[▼]で(物理CH指定)を選び、[決定]ボタンを押します。



● 物理チャンネル番号を 入力して確認する場合
▼で一番下に表示されている「物理CH指定 を選択し、「 1」～「62」のチャンネル番号を入力します。

● CATV放送を入力する場合
リモコン番号「11」を押してから、該当するチャンネル番号を入力します。

(物理CH指定)にて入力された番号が「0」または「63」以上の場合、「使えないチャンネル番号です」とメッセージが表示されます。

4. [戻る]ボタンで前画面に戻ります。
[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

※物理チャンネルについて(地上波)

地上デジタル放送は、UHFの電波を使用して各放送局より送信されています。
13～62までのチャンネル番号が各放送局に割り当てられており、このチャンネル番号を物理チャンネルといいます。

※ケーブルテレビにご加入のお客様へ

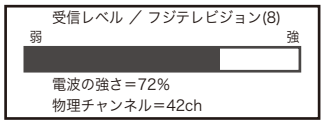
- 本機は、同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応しております。
【受信レベル】で（物理CH指定）を選択して受信レベルを確認する場合は、入力できるチャンネル番号は「13」～「63」となります。
- 同一周波数パススルー方式の場合は、地上波を選択してCATV放送の受信レベルを確認してください。
入力できるチャンネル番号は「13」～「62」となります。

※受信レベルは電波の強さを表します。

地上デジタル放送は、電波の強さと品質でテレビ画像の映りが変わるため、受信レベルが緑色（60%以上）であっても良好な画質が得られない場合があります。その場合は、お近くの電気店とご相談して、アンテナの向きを地上デジタル放送の電波塔の方向に変更するなどの調整をしてください。

電波の強さの値により受信レベルを示すバーグラフの色が変わります。

・緑色→正常に映る受信レベル（60～100%）
・黄色→映像が乱れる場合がある受信レベル（40～59%）
・赤色→映像が正常に映りにくい受信レベル（0～39%）

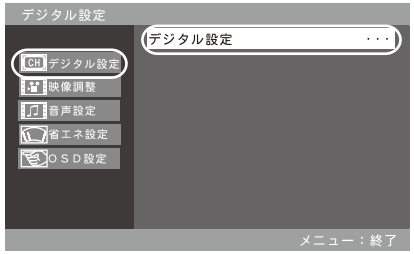


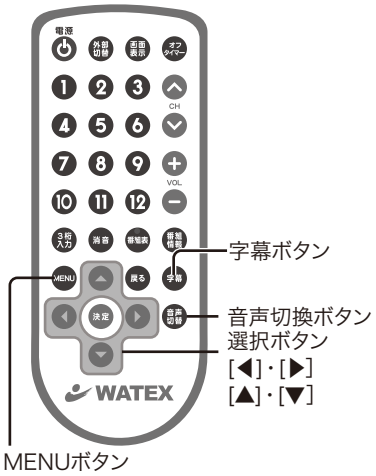
72%(緑色）

デジタル設定　【機器設定】【各種情報表示】【テスト】

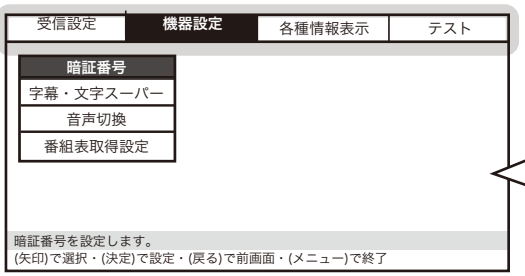
リモコンでデジタル設定の各種設定をします。

1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
メニュー画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す
右画面の【デジタル設定】を選び、[決定]ボタンを押す





2. **機器設定**
[◀]・[▶]で【機器設定】を選び、[決定]ボタンを押す



[▲]・[▼]で項目を選択
[決定]ボタンで決定
[戻る]ボタンで前画面
[メニュー]ボタンで終了

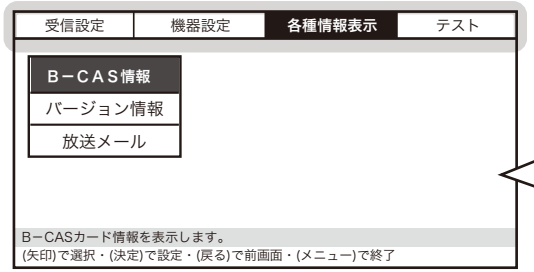
◎暗証番号
数字4桁を暗証番号として設定します。デジタル放送の全メニューの設定内容を工場出荷時の設定に戻すときに必要となります。※**初期設定値は『9999』です。**※**暗証番号は必ずメモしてください。**
「更新する」を選択すると、新しい暗証番号を数字4桁で設定します。
「やめる」を選択すると、設定をしないまま、「暗証番号」を終了します。

◎字幕・文字スーパー　リモコンの[字幕]ボタンを押しても切り換えられます。
字幕・文字の表示設定を行います。
表示の有無や第一・第二言語の設定を行います。
（第一・第二言語は放送内容により異なります）

◎音声切換　リモコンの[音声切換]ボタンを押しても切り換えられます。
音声の切換動作を設定します。
主音声・・・主音声を出力します。
副音声・・・副音声を出力します。
主＋副・・・左スピーカー→主音声
　　右スピーカー→副音声

◎番組表取得設定
番組表のデータを取得する・しないを設定します。
取得する　・・・番組表データを取得します。
取得しない・・・番組表データを取得しません。

3. **各種情報表示**
[◀]・[▶]で【各種情報表示】を選び、[決定]ボタンを押す



[▲]・[▼]で項目を選択
[決定]ボタンで決定
[戻る]ボタンで前画面
[メニュー]ボタンで終了

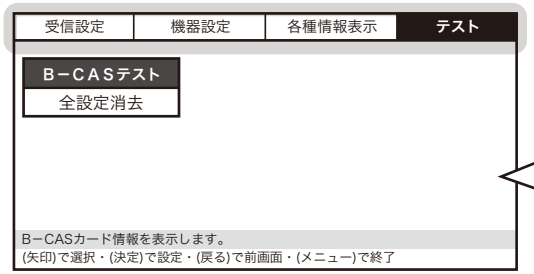
◎Ｂ－ＣＡＳ情報
Ｂ－ＣＡＳカードの情報を表示します。
カード識別、カード ID、グループ ID が表示されます。

◎バージョン情報
ファームウェアバージョンを表示します。

◎放送メール
放送メールを表示します。
放送メールとはデジタル放送を利用して受信機にメールを送る仕組みです。

※放送メールがない場合は、空欄のまま何も表示されません。
※放送メールは、最大7件まで表示されます。7件以上になった場合は、古い放送メールから自動的に削除されます。

4. **テスト**
[◀]・[▶]で【テスト】を選び、[決定]ボタンを押す



[▲]・[▼]で項目を選択
[決定]ボタンで決定
[戻る]ボタンで前画面
[メニュー]ボタンで終了

◎Ｂ－ＣＡＳテスト
Ｂ－ＣＡＳカードが正しく装着されているかをテストします。
「実行する」を選び、決定ボタンを押します。

※カードに問題がない場合は「 B-CASカードは問題ありません。(戻る)ボタンを押してください 」とメッセージが表示されます。
※カードに問題がある場合は「 B-CASカードのテストでエラーが見つかりました。(戻る)ボタンを押してください 」とメッセージが表示されます。この表示が出た場合は、お求めの販売店にご連絡ください。

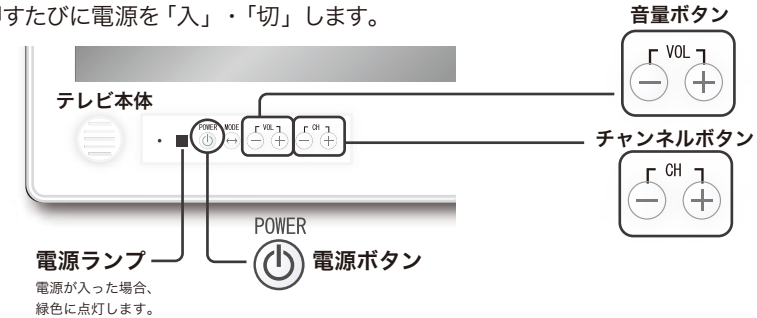
「やめる」を選択すると、テストを実行せずに「B-CASテスト」を終了します。

◎全設定消去
工場出荷状態に戻します。
暗証番号を入力して、「消去する」を選択すると設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。
「やめる」を選択すると、初期化を実行せずに「設定の初期化」を終了します。

※暗証番号の初期設定値は『9999』です。

1. 電源を入れる

本体またはリモコンの電源ボタンを押す
押すたびに電源を「入」・「切」します。



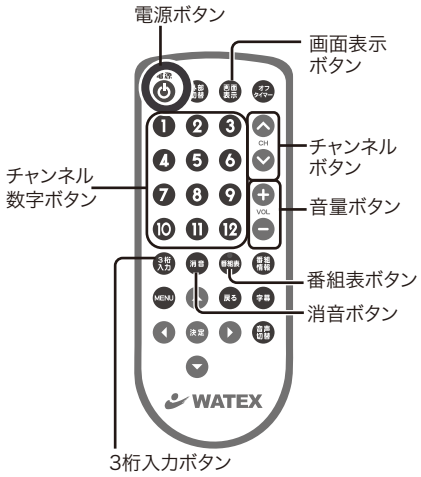
2. チャンネルを選ぶ

◎ **[チャンネル数字]ボタンで選ぶ**
リモコン番号①～⑫

◎ **リモコンまたは本体の順送りでチャンネルを選ぶ**
[チャンネル]ボタンを押す

◎ **3桁チャンネル番号を入力して選ぶ**
リモコンの[3桁入力]ボタンを押して
[チャンネル数字]ボタンで番号を入力

◎ **デジタル放送の電子番組表（EPG）を見る**
[番組表]ボタンを押します。
もう一度押すと、表示が消えます。



3. 音量を調整する

◎ **リモコンまたは本体の[音量]ボタンを押して調整する**
[+]を押すと音量が大きくなり、[−]を押すと音量が小さくなります。

◎ **音を一時的に消すには**
[消音]ボタンを押すか、[音量]ボタンで調整します。

4. チャンネルの表示をする

[画面表示]ボタンを押す
選択中のチャンネル番号または外部入力モードが画面右上に表示されます。

5. 電源を切る

本体またはリモコンの電源ボタンを押す
押すたびに電源を「入」・「切」します。

オフタイマー設定

オフタイマーを設定し、指定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

1. リモコンの[オフタイマー]ボタンを押す

テレビの画面にオフタイマーが表示されます。

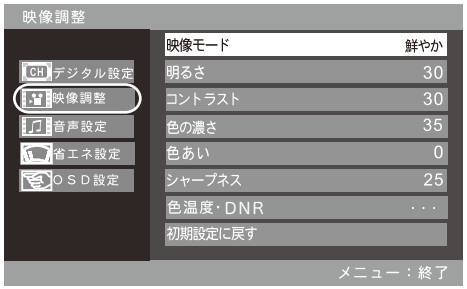
オフタイマーオフ
↓
オフタイマー15分
↓
オフタイマー30分
↓
オフタイマー60分
↓
オフタイマー90分
↓
オフタイマー120分
↓
オフタイマーオフ

[オフタイマー]ボタンを押すたびに
オフ→15 分→30 分→60 分→90 分→120 分→オフ...
の順に変化します。

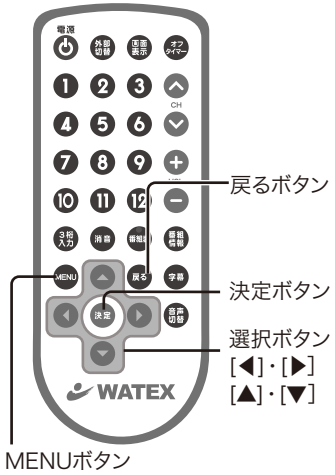
・すでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
設定されていないときは、「オフ」と表示されます。
・解除するときは、[オフタイマー]ボタンを押し、「オフタイマーオフ」にしてください。
・メニューの【省エネ設定】→【オフタイマー】からも設定ができます。(29ページ)

リモコンで映像調整をします。

1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
[▲]・[▼]でメニュー画面の【映像調整】を選び、
[決定]ボタンを押す



2. [▲]・[▼]でメニュー画面右の項目を選び
[決定]ボタンを押す



3.

映像モード

[◀]・[▶]で【映像モード】のいずれかを選び、[決定]ボタンを押す

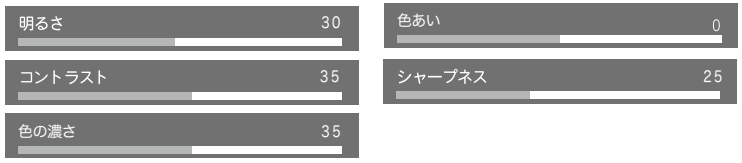
映像モード
鮮やか　標準　柔らか　お好み

調整項目	鮮やか	標準	柔らか	お好み
	明るく、迫力のある映像で楽しむとき	お部屋で落ちついた雰囲気で楽しむとき	お部屋を少し暗くして柔らかみのある雰囲気で楽しむとき（暖かみのある色あいを再現します。）	お好みに調整した映像で見るとき（調整方法は次のページをご参照ください。）

[戻る]ボタンで前画面に戻ります。
[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

明るさ　コントラスト　色の濃さ　色あい　シャープネス

[◀]・[▶]でお好みの映像に調整します。



調整項目	調整範囲	内　容	カーソルボタン
明るさ	0～60	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。	暗くなる⇔明るくなる
コントラスト	0～60	画像のコントラストを調整できます。	弱くなる⇔強くなる
色の濃さ	0～60	色の濃さを調整できます。	薄くなる⇔濃くなる
色あい	-30～+30	色あいを調整できます。	黄色っぽくなる⇔赤色っぽくなる
シャープネス	0～60	画像の輪郭を調整できます。	弱くなる⇔強くなる

[戻る]ボタンで前画面に戻ります。
[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

色温度　DNR

[▲]・[▼]で【色温度】または【DNR※】を選び、[決定]ボタンを押す

色温度　標準
DNR　オフ

※Digital Noise Reduction＝ノイズ低減

[◀]・[▶]で【色温度】のいずれかを選び、[決定]ボタンを押す

色温度
暖2　暖1　標準　寒1　寒2

・暖1、暖2は全体的に橙色に見えます。寒1、寒2は青色に見えます。
お好みに合わせて設定してください。

[◀]・[▶]で【DNR】(ノイズ低減)のいずれかを選び、[決定]ボタンを押す

DNR
オフ　低　中　高

・ノイズ低減を「高」寄りに設定するほど、小さなノイズを感知してノイズの少ない映像を視聴できるようになります。
設定されている地域や環境によりノイズが多い場合、本機の内部処理に影響があり、画像停止などの症状が起きてしまい、正常に視聴できないことがあります。視聴されている状況に合わせて設定してください。

[戻る]ボタンで前画面に戻ります。
[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

初期設定に戻す

【初期設定に戻す】を選び、[決定]ボタンを押すと「OK」と表示され、映像調整のすべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。

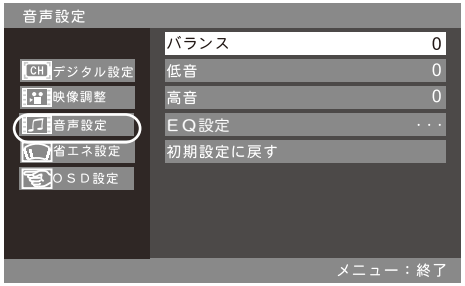
初期設定に戻す　OK

[戻る]ボタンで前画面に戻ります。
[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

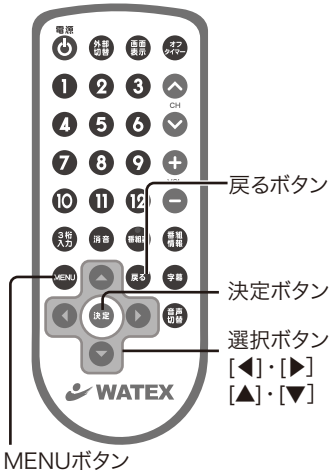
音声設定

リモコンで音声設定をします。

1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
[▲]・[▼]でメニュー画面の【音声設定】を選び、
[決定]ボタンを押す



2. [▲]・[▼]でメニュー画面右の項目を選び
[決定]ボタンを押す



3.

バランス　低音　高音

[◀]・[▶]でお好みの音声に調整します

[戻る]ボタンで前画面に戻ります。
[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

調整項目	調整範囲	内　容
バランス	左10～右10	左右のスピーカーから出力される音声の割合を調整できます。
低音	-5～+5	スピーカーから出力される低音を調整できます。
高音	-5～+5	スピーカーから出力される高音を調整できます。

EQ設定（音質設定）

【EQモード】を選択し、[決定]ボタンを押す

お好みで各値を高く設定すると、良い音声が聞こえるようになるとともにノイズや不快と思われる音声なども聞こえやすくなります。お好みに合わせて調整してください。

お好みの音質設定を選択し、[決定]ボタンを押す

	標準	映画	ライブ	お好み
調整項目	音域が一律、基準となる設定です。	低音域を強めに設定してあり、迫力があるように感じる音声を出力するように設定します。	中高音域を強めに設定してあり、賑やかに感じる音声を出力するように設定します。	各音域を調整するとお好みの音質設定数値が記憶されます。

[戻る]ボタンで前画面に戻ります。[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

初期設定に戻す　【音声設定】のすべての項目を初期の設定に戻します。

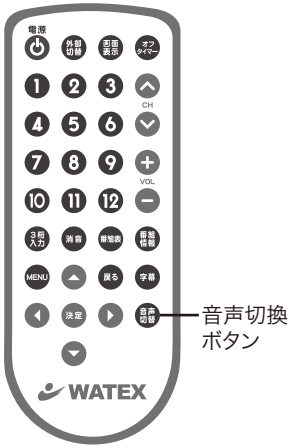
[戻る]ボタンで前画面に戻ります。[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

4. そのほかの音声設定

リモコンの音声切換ボタンを使用します。

◎音声切換
音声の切換動作を設定します。
主音声・・・主音声を出力します。
副音声・・・副音声を出力します。
主＋副・・・左スピーカー→主音声
　　右スピーカー→副音声

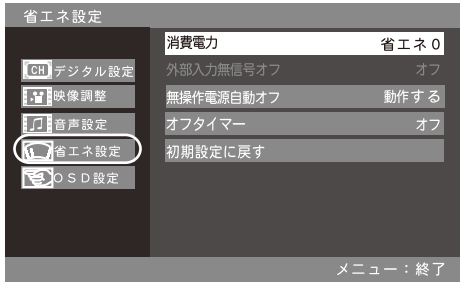
デジタル設定の機器設定の項目からも設定できます(21ページ)

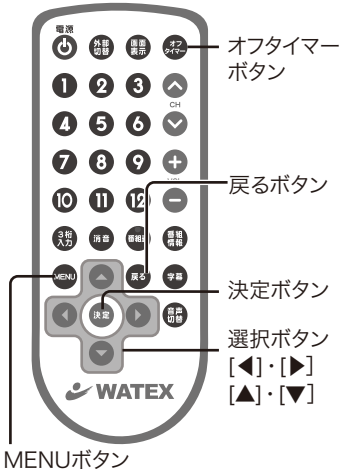


省エネ設定

リモコンで省エネ設定をします。

1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
[▲]・[▼]でメニュー画面の【省エネ設定】を選び、
[決定]ボタンを押す





2. [▲]・[▼]でメニュー画面右の項目を選び
[決定]ボタンを押す

3.

項目設定

(例)【消費電力】

[◀]・[▶]でお好みの設定状態を選び、[決定]ボタンを押す

[戻る]ボタンで前画面に戻ります。[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。
ほかの項目を設定するときもこの手順で設定してください。

■機能説明

◎ **消費電力**
バックライトを調整することで、画面全体の明るさを変えて、消費電力を低減する機能です。
【省エネ0】：バックライトが一番明るいモード
【省エネ1】：明るさをおさえた省エネモード
【省エネ2】：明るさを【省エネ1】よりさらにおさえた省エネモード

◎ **外部入力無信号オフ**
【オン】：外部入力選択時に無信号状態が約15分続くと、自動的に電源が切れます。
【オフ】：外部入力選択時に無信号状態が約15分続いても、電源が切れません。

◎ **無操作電源自動オフ**
【動作する】　：無操作状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。
【動作しない】：無操作状態が約3時間続いても、電源が切れません。

◎ **オフタイマー**　：リモコンからも設定できます。(24ページ)
指定した時間経過後に自動的に電源が切れます。
オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が項目に表示されます。
設定されていないときはオフと表示されます。

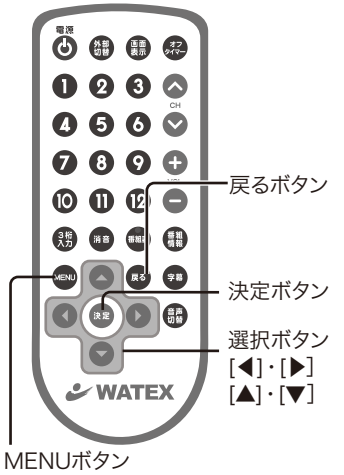
◎ **初期設定に戻す**
【省エネ設定】内で設定した項目を初期状態に戻します。

OSD設定

ＯＳＤとは【On-Screen Display】の略称です。本機を操作することでテレビ画面上へ表示する各種情報やメニュー画面をＯＳＤと表記しています。

リモコンでOSD設定をします。

1. リモコンの[MENU]ボタンを押す
[▲]・[▼]でメニュー画面の【OSD設定】を選び、
[決定]ボタンを押す



2. [▲]・[▼]でメニュー画面右の項目を選び
[決定]ボタンを押す

3.

表示時間

[◀]・[▶]で表示時間のいずれかを選び、[決定]ボタンを押す

※リモコンや本体ボタンを操作することで画面に表示されるＯＳＤのなかには、この設定時間が適用されないものもあります。

[戻る]ボタンで前画面に戻ります。
[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

透明度

[◀]・[▶]でお好みの透明度に調整します。

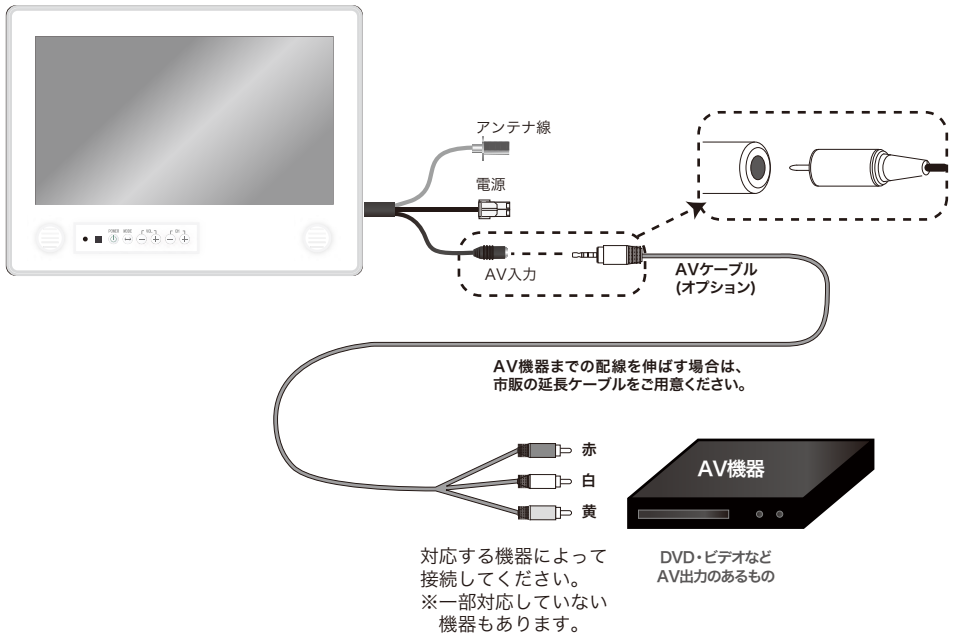
・透明度は４段階に切り換えることができます。透明度を「０」にするとＯＳＤがはっきり表示されますが、ＯＳＤの後ろになる画像が見えなくなります。透明度を「４」に近づけるとＯＳＤの表示が段階的に薄くなり、ＯＳＤの後ろにある画像が見えるようになります。お好みに合わせて切り換えてください。

[戻る]ボタンで前画面に戻ります。[MENU]ボタンでメニュー画面を終了します。

外部機器をつないで使う

1. 外部入力との接続について

接続ケーブルのAV入力端子に4極φ3.5ステレオミニジャックを接続します。
※専用AVケーブルとなります。市販のAVケーブルはご使用できません。



2. 外部接続を見るには

1） 本機の電源ボタンを押して電源を入れます。
●電源が入った場合、電源ランプが緑色に点灯します。

3） テレビを「ビデオ」モードにします。
リモコンの[外部切換]ボタンまたは、モニターの[MODE]ボタンを押して、「ビデオ」モードに切り換えます。
「テレビ」、「ビデオ」から選びます。選択すると、入力が切り換わります。

4） 使用する外部機器を操作します。
※外部機器の操作方法は外部機器側の取扱説明書をご覧ください。

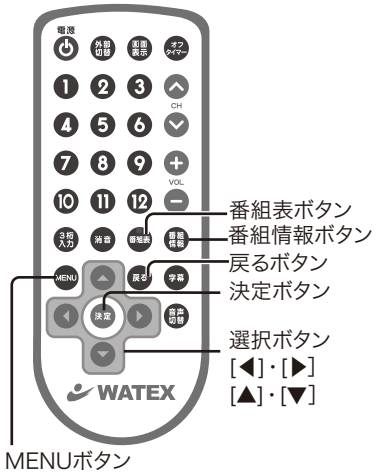
5） 音量ボタンで音量を調整します。
音量ボタン[+]を押すと音量が大きくなり、[−]を押すと音量が小さくなります。
リモコン、またはモニターの音量ボタンで調整します。

ＥＰＧ（電子番組表）

リモコンで番組表を表示します。

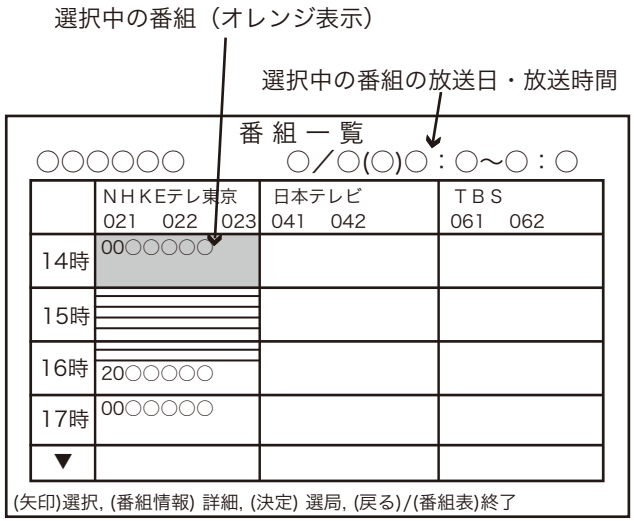
TV視聴中にリモコンの[番組表]ボタンを押すと、
EPG(電子番組表)が表示されます。

※ 放送局が番組情報を送信していないときは表示されません。
また【番組表取得設定】が「取得しない」になっている場合（21ページ参照）は表示されません。



（リモコン操作方法）

▼▲◀▶：上下左右にカーソル移動
[番組情報]ボタン：選択中の番組内容を詳細表示します
[決定]ボタン：番組に切り換えます
[戻る]ボタン[番組表]ボタン：ＥＰＧを終了します



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。

画面に表示されず、音声も出力されない
・製品本体の電源ボタンを押して、電源を入れ直します。電源が入った後、電源ランプが緑色に点灯していることを確認してください。 ・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の電源が入っていることを確認してください。 ・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。 ・入力モードは合っていますか？テレビ／ビデオの入力モードを確認してください。
音声は出力されるが、画面が出ない
・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。 ・『明るさ』、『コントラスト』、『色の濃さ』、『色あい』、『シャープネス』を調整してください。
画面は表示されるが、音が出ない
・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。 ・製品本体の音量調節ボタンを押して、音量を上げてください。
映像や音声が出ない（ＴＶ）
・アンテナ接続時はアンテナが接続されているか確認してください。また、アンテナがＵＨＦアンテナであるか確認してください。ＶＨＦアンテナでは受信できません。 ・アンテナの向きが地上デジタルテレビ放送を送信している中継局へ向いているか確認してください。 ・ケーブルテレビで接続している場合、ご契約のケーブルテレビ会社が周波数パススルー（全帯域）方式に対応しているかをご確認ください。トランスモジュレーション方式の場合はＳＴＢ（セットトップボックス）を接続してください。
特定のチャンネルの受信ができない
・チャンネル設定が正しく行われているか確認してください。また、チャンネル追加設定で再度チャンネルサーチを行ってみてください。受信できないチャンネルの受信レベルを確認してください（19ページ） ・中継局によっては、一部チャンネルのみ送信している場合があります。中継局の送信状況についてはお買い上げの販売店へお尋ねください。 ・ＬＭ帯アンテナ（13ch ～ 44ch）や、ＭＨ帯アンテナ（31ch ～ 62ch）をご使用の場合、一部チャンネルが受信できません。ＵＨＦ全帯域アンテナ(13ch ～ 62ch）をご使用ください。ご使用のアンテナがどの種類か分からない場合は、アンテナ取付業者にお問い合わせください。
本体の電源が勝手に切れてしまう
・オフタイマーがセットされていないことを確認してください。
製品本体の電源が入らない
・製品本体の電源ボタンを押して、電源が入ることを確認します。電源が入った後、電源ランプが緑色に点灯していることを確認してください。
映像の映りが悪い、画面に縞模様が入る、音声にノイズが入る
・アンテナの向きは中継局の方向へ向いていますか？方向がずれていると映りが悪くなります。アンテナ調整は専門業者にご依頼ください。 ・パソコン・携帯電話・ＡＶ機器・無線局等、磁気を発する機器の近くで使用している場合、ノイズが発生することがあります。これらの機器を本製品から離してください。
モノクロで表示される、色あいが悪い
・『コントラスト』、『色あい』を調整してください。
画面が明るすぎる、または暗すぎる
・『明るさ』を調整してください。
画面が曇っている
・常温の室内に数時間放置しても曇りが取れない場合は、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

地域設定一覧

本製品に設定されている地域一覧です。お住まいから近い中継局に設定してください。

地域設定	詳細エリア設定
北海道	札幌、函館、旭川、帯広、釧路、北見、室蘭
東北	宮城、秋田、山形、岩手、福島、青森
関東	東京、神奈川、群馬、茨城、千葉、栃木、埼玉、山梨
信越／北陸	長野、新潟、石川、福井、富山
中部／東海	愛知、静岡、三重、岐阜
近畿	大阪、京都、兵庫、和歌山、奈良、滋賀
中国／四国	広島、岡山、島根、鳥取、山口、愛媛、香川、徳島、高知
九州／沖縄	福岡、熊本、長崎、鹿児島、宮崎、大分、佐賀、沖縄

製品仕様

製品名	WMA-115-F
種類	地上デジタル防水テレビ　15 型
受信チャンネル範囲	日本国内地上波デジタル放送 UHF(13～62)CATV(1～12､C13～63)
受信感度	使用地域の電波状況による
表示器	TFT LCD
画素数	1400(W)×900(H) 画素
アンテナ	各種アンテナ接続
音声方式	ステレオ
スピーカー	防水タイプ（φ40、8Ω、1W）　2個
接続端子	1系統 (F 型ジャック)
使用電源	AC100V
定格周波数	50/60Hz
防水機能	ＩＰＸ６級耐水相当
消費電力	max12 W
動作温度	0℃～+50℃
保存温度	-10℃～+60℃
本体外形寸法	幅 410mm× 高さ 310mm× 奥行き 29mm
質量	約 2.0kg(本体)
付属品	専用同軸ケーブル 専用AVケーブル（オプション） 電源ケーブル リモコン リモコンホルダー 電源ボックス 設置板 取扱説明書 設置説明書 取付型紙 保証書 ビスカバー：２個 取付板用ビス　M4×25：６本 ビスカバー用ビス　M4×10：２本 六角レンチ棒 防水スポンジ リモコンホルダー用ビス　M3×18：２本 リモコンホルダー用両面テープ ：２枚 リモコン用リチウム電池 リモコン用工具

※[1] 液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、予めご了承下さい。

(注)本製品の外観・仕様等は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

□保証書

・本製品には保証書が添付されております。大切に保管してください。
・内容ならびにお買い上げ店名・お買い上げ日の記載があることをお確かめのうえ、大切に保管してください。
・保証書を紛失した場合は、保証書の再発行は行っておりませんので予めご了承ください。
・本製品の保証期間はお買い上げ日より起算して満1年間です。
・保証期間中に修理等をご依頼の場合には、保証書のご提示が必要です。保証書のご提示がない場合、有償での修理となる場合がございます。
・保証書は日本国内においてのみ有効です。

□アフターサービス

本製品の修理をご依頼される前に、まず本取扱説明書に従って正しく操作を行い、いま一度お確かめください。
確認をしていただきそれでも不具合が改善されない場合には、次の処置をしてください。

●保証期間中の修理について

保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下で万が一不具合が発生した場合、当社保証規定に基づき無償にて不具合箇所の修理等対応をさせていただきます。
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にお持ち込みいただくか、または当社お客様サポートセンターへご送付ください。
但し、不具合原因が不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いによる結果のものと判明した場合、有償修理とさせていただきます。修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

●製品の保証範囲

製品の保証は、製品同梱の付属品を使用し、保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下でのご使用に限り有効です。
万が一正常な使用状態下でのご使用で不具合が発生した場合、当社保証規定に基づき不具合箇所の修理等対応をさせていただきます。
但し、下記の場合には保証期間内でも無償修理が受けられません。
・製品と保証書のご提示がない場合。
・保証書の所定事項の未記入・複製・改ざんがある場合。
・お買い上げ後の輸送・移動時の落下または衝撃等、お取り扱いが適正でない場合に生じた故障・破損の場合。
・お客様による不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いにより生じた故障・破損の場合。
・当社以外で修理・部品交換などのメンテナンスを行った場合。
・火災・地震・落雷・塩害・風水害等の天変地異、公害や異常電圧などの外部要因により生じた故障・破損の場合。
・日本国外でのご使用の場合。

また、下記の場合には免責事項として保証範囲に含まれません。
・保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下で消耗部品が自然消耗もしくは磨耗した動作不具合の場合。
・お客様で追加接続した、付属品以外の周辺機器との間に生じる動作不具合の場合。
・本製品の不具合、故障などにより直接的または間接的に生じたそのほかの障害。

□修理・保証内容のお問い合わせ先

〒373-0015 群馬県太田市東新町32番
株式会社ワーテックス　お客様サポートセンター
TEL ：O120-25-3930(フリーダイヤル)
FAX ：O276-25-8641
E-mail ：support@watex-net.com
受付時間 ：月～金8:30～12:00 ／ 13:00～17:30
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)
ホームページ　http://www.watex-net.com

MEMO